

森林環境税活用事業報告①

高知北高では、「総合的な探求の時間」の 私たちと環境 グループが、「森林環境税活用事業」を活用して、自然環境について考える様々な活動を行っています。

「森林環境税活用事業」とは、高知県の取り組みの1つです。高知県では、県民みんなの負担で森づくりを進めるため、平成15年に全国に先駆けて森林環境税を導入しました。この税を使って森林環境学習への支援も行われており、それを高知北高でも活用しています。

その内容について紹介していきます。

6月17日2.「ヤイロチョウの森」講演

今回は、高知の自然環境を知ることが目的として、生態系トラスト協会会長の中村滝男先生をお招きし、「ヤイロチョウの森」というタイトルで講演をしていただきました。

中村さんは四万十町で30年近くヤイロチョウの生態観察と保護活動を行っている方です。

貴重な映像や具体物を交えてヤイロチョウと森とのかかわりについて教えていただきました。

生徒たちからは、「ヤイロチョウが高知の鳥だということで興味があり、今回詳しく知ることができて良かった。」「すごく生態系について興味が湧きました。」「日本で親しみのある鳥たちが外来種の犠牲になっている現状を知り、日本の鳥たちをもっと守っていけるようになったら嬉しいです。」などの感想がありました。

この講演を通じ、たくさんの生物のかかわりで生態系が成り立っていることや保全の大切さ、難しさを考えてもらいたいです。

